

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

2019年にて「宗像セントラルFC」にて「ジュニアユース」が活動・運営を始めて17年目となります。ご存知の方もおられるかと思いますが、当クラブは当初は幼児・小学年代の「ジュニア」のみにて活動を行っていましたが、地域の皆様の要望もあり、中学年代の「ジュニアユース」の活動も行うようになりました。当時は会員もスタッフもまだ少なく、全てが手づくりのチームでしたが、やがて会員も増え、運営体制も整うようになって今日に至っております。これも、地域・保護者の皆様方、関係の方々のご理解とご支援があったからこそと改めて実感しております。

さて、近年、サッカーや地域スポーツを取り巻く環境は大きく変化してきております。サッカーについて言えば、あらゆる形態の多くのクラブチームが設立され、あらゆるところでサッカーができる環境が整い始めております。このようなサッカー環境の充実は大変喜ばしいことなのですが、一方で、子ども達の社会性や自律性に関する課題も耳に入っております。

「宗像セントラルFC」はクラブチームです。私たちスタッフの役割は、「サッカーの楽しさ」を伝えることはもちろんですが、それ以外にも、子どもたちに「自分でできることはやること」「友だちや仲間を大切にすること」「サッカーができる環境に感謝する心をもつこと」を伝えていきたいと思っています。

今年も、保護者の方々はもちろんのこと、多くの方々の力をお借りすることになると思います。スタッフといたしましても、クラブの更なる発展はもとより、地域に根ざした「宗像セントラルFC」でありたいと考えております。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

平成31年 元旦

宗像セントラルFC 代表／ヘッドコーチ 大石 潤

事務局・指導スタッフ一同

